

リウマチニュース

平成17年8月号

去る7月10日、外来ホールにおいて、音楽療法の一環としてコンサートを行いました。演奏は西坂ギターサークル『カポタスト』の皆さんにお願いしました。

初めての試みでしたが、80名近くの方に参加していただき、無事開催することが出来ました。ありがとうございました。



☆音楽療法について

音楽を『聴き』穏やかな・懐かしい・楽しい気持ちになる

〃 『ともに口ずさみ』楽しい気持ちになり、仲間作りが出来る

〃 『体で感じる』リズムを取る、体が動く

このように身体面・精神面ともにストレスを軽くし、リラックスさせる効果があります。

今回は、日曜日の開催ということもあって、主に入院患者さんに参加して頂きましたが、次回は秋頃平日に行いたいと考えております。外来にご来院の皆さまにも是非参加して頂きたいです。



新しいお薬について

この春から、当院でもレミケード、エンブレル、プログラフという新しいお薬を扱うようになりました。そこで、簡単にご紹介したいと思います。

【レミケード】

リウマチの方の関節には、リウマチの炎症・腫れ・痛み・関節の破壊（病気の進行）の重要な原因である **TNF α** ～ティーン・エヌ・エフ・アルファ～という物質が分泌されています。レミケードは、この **TNF α** の働きを強力に止め、症状を速やかに改善し、関節の破壊を止める目的で作られたもので、点滴注射のお薬になります。

【エンブレル】

レミケードと同じような働きをするもので、皮下注射のお薬です。

【プログラフ】

このお薬は、飲み薬で、**TNF α** などの炎症性サイトカインの産生を抑制する働きがあります。いずれのお薬も、リウマトレックスなどの抗リウマチ薬で、効果が不十分な場合に用いられます。

♪ こぼれ話

6月号で、リウマチ友の会様より表彰していただいたことをお知らせしましたが、友の会の総会でリウマチの歴史について、非常に興味深い講演がありましたので、ほんの少しだけご紹介します。

リウマチだった著名人

山上憶良（660～733）

ルーベンス（1577～1640）

ノーベル（1833～1896）

ルノアール（1841～1919）：晩年は車椅子に乗り、絵筆を包帯でくくりつけて絵を描いていたそうです。

デュフィー（1877～1953）：ステロイドを求めてアメリカに渡り、ステロイドを服用。その後、症状が改善し素晴らしい絵を残したとのこと。

アガサ・クリスティー（1890～1976）

古くは、紀元前の頃からリウマチは存在していたそうです。ミイラから発見されたそうですよ。

